

【資料1】 令和7年度 学校評価 内容項目について

評価領域	番号	保護者・教職員	生徒
教育課程・学習指導	1	学校は、松山の授業モデルをもとに、一人一人が分かる喜び、共に学ぶ喜びを実感できる授業を行っている。	分かる楽しさやできる喜びを感じながら授業を受けている。
	2	学校は、教科等の指導においてアナログとデジタルそれぞれのよさを適切に生かした授業改善に取り組んでいる。	タブレットとノート、プリントをうまく活用しながら学習している。
	3	学校は、生徒の学力や体力の状況を把握し、それらの充実に向け計画的に指導を行っている。	診断テストや期末テスト、新体力テストの結果から、自分の課題を見付け、向上するために努力している。
	4	学校は、地域に根ざした教育を行い、郷土を大切に思う生徒の育成に努めている。	地域を大切に思っている。地域に貢献するために、道中クリーンデイなどの美化活動や防災学習に進んで取り組んでいる。
人権・同和教育・生徒指導	5	学校は、人権・同和教育の視点に立ち、いじめや差別を許さない意識や態度を育てている。	思いやりを持って人に接し、いじめや差別を許さない態度で生活している。
	6	学校は、「学校のきまり」など生徒指導体制の見直しを行い、生徒の実態に応じた適切な指導を行っている。	よりよい集団生活ができるよう、学校や学級のきまりやルールを守って生活している。
キャリア教育	7	学校は、将来に夢をもち、自分の進路や生き方について考える生徒を育てている。	将来について考え、夢を実現するために努力している。
安全管理	8	学校は、生徒に交通安全やけが等の防止について適切な指導を行うとともに、安全な環境づくりに努めている。	交通に関するルールやマナーを守り、安全に気を付けている。
保健管理	9	学校は、家庭と連携して個々の健康状態を確認するとともに、環境衛生の維持・改善を行い、生徒の健康保持・増進に努めている。	規則正しい生活やバランスの取れた食事に心掛けるなど、健康に気を付けて生活している。
	10	学校は、換気や手指衛生などの基本的な感染症対策を行っている。	換気や手指衛生などの基本的な感染症対策を行っている。
特別支援教育	11	学校は、特別支援教育の視点をもって取り組み、個に応じた配慮や指導を適切に行っている。	
組織運営	12	学校は、管理職や学年主任等を中心とした組織的な対応を行っている。	
研修	13	学校は、子どもたち一人一人が分かる授業づくりや、様々な教育課題への対応に向けて、積極的に研修に取り組んでいる。	計画的に家庭学習に取り組んでいる。
保護者・地域との連携・情報提供	14	学校は、教育活動の充実に向けて地域や保護者と連携・協力している。	地域の一員として、進んで地域の行事や活動に参加している。
	15	学校は、学校・学年だよりやホームページ、配信システム等により、積極的に情報を発信している。	学校からの連絡などは確実に保護者に渡している。また、それらを必ず読んでいる。
教育環境	16	学校は、言語活動の充実及び展掲示の工夫等の環境整備に努めている。	学校施設を大切に使用している。
幼保小中連携	17	学校は、中1ギャップの解消につなげるために関係校で連携し、生徒の学校生活に対する不安感の軽減を図っている。	
	18	学校は、関係校で連携して生徒への理解を促進するとともに、系統性を重視した学習指導を行っている。	